

令和6年度 ウェス部会研修会



令和7年1月 21 日から 22 日の2日間、山口県宇部市で、令和6年度ウェス部会研修会を開催しました。研修のテーマは「企業・福祉事業所の新たな連携」で、北は北海道から南は鹿児島まで 30 名、地元の行政等も含めると 40 名の方々に参加いただきました。

ウェス部会は、コロナ禍等で中断があり、対面で開催されるのは平成 29 年の北海道開催以来、久しぶりの開催となりました。

ウェス部会関幹事(名古屋厚生会館セルフ・愛知県)の開会あいさつに続き、山口県社会就労事業振興センターの益原理事長から「法定雇用率に対応した企業・福祉事業所の新たな連携」をテーマに今回の研修会の趣旨説明が行われました。

この中で、今回の大きなテーマである企業との連携について、これまで企業からの仕事の発注がメインだったが、逆に福祉サイドから企業に仕事を出して、企業に障害者の雇用を創出してもらうという新たな取組についての説明がありました。



●基調講演 「日本セルフセンターにおける障害のある人達の就労支援の実態」 日本セルフセンター 高江智和理 会長(北海道光生舎 理事長)

基調講演では、日本セルフセンターの活動説明の後、北海道光生舎の創設者でおられるお父様の、施設の創設当時の苦労話、企業授産を唱えられた仕事に対する厳しさや向き合う姿勢について、ご自身の体験談も含めてお話がありました。

参加者からは感銘を受けたという意見や改めて障害のある利用者との向き合い方について見直す機会になったとの多くの意見がありました。



●実践報告

①企業が新たにウェス事業に取組んだ事例報告

(社福)扶老会 障害福祉サービス事業所サムラ 管理者 三藤賢次 氏

②セントラル硝子(株)宇部工場の障害者雇用にウェス作業導入取組みの効果について

セントラル硝子(株)宇部工場 管理部管理課ジョブコーチ 繁永 浩 氏

従来の企業に製品を買ってもらう、企業から仕事を受注するといった関係でなく、ウェスの作業マニュアルを提供して、企業の仕事としてウェス作業を取り入れてもらい、材料を事業所から仕入れてもらう他、ウェス作業をする障害者を直接雇用してもらうという新しい発想の取組みについて、事業所と企業のそれぞれの立場から事例報告がありました。



●情勢報告「国内のウエス市場の状況」

門倉貿易(株) 社長 門倉功一郎 氏

情勢報告では、従来から広くウエスを取り扱っており、日本セルフセンターのウエス仕入れにもご協力いただいている、門倉貿易(株)の門倉社長から、コロナ禍以降のウエスの状況やウエスの種類、業界の問題点や課題、ユーザーが求めていることなどについてわかりやすい説明がありました。



2日目は、初日に実践報告があった2カ所の施設と企業の視察研修を行いました。参加者は、直接現場を見ることで、内容がより深く理解できたようでした。

●視察研修① (社福)扶老会 障害福祉サービス事業所 サムラ

●視察研修② セントラル硝子(株)宇部工場



サムラでの見学の様子



セントラル硝子での作業
サイズを見やすくする工夫



セントラル硝子での質疑応答



山口県社会就労事業振興センター
益原理事長 閉会の挨拶

8年振りの対面での研修でしたが、オンラインでの研修とはまた違った対面ならではの充実した研修になったようでアンケートの結果も大好評でした。

次年度も対面での研修を予定しておりますので、奮ってご参加ください。